

ビックセンター 探訪⑧

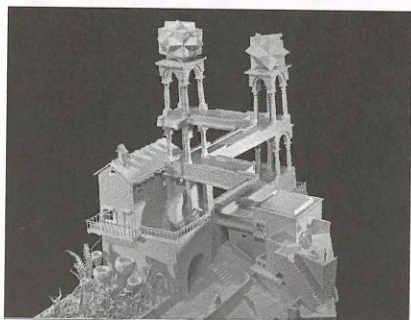
二戸市シビックセンター

☎25-5411

トリックアートを楽しもう

マウリッツ・エッシャーという芸術家をご存知でしょうか？名前を聞いただけではあまりなじみが無いかもしれませんが。エッシャーは『視覚の魔術師』と言われるオランダの版画家で、「だまし絵」はエッシャーの代名詞にもなっています。美術の教科書などで一度は彼の作品を目にしている方も多いのではないのでしょうか。

エッシャーの作品は非常に独創的であり、彼の代表作である『滝』でも分かれるところ、現実ではありえない構図で描かれているため、平面の世界でのみ可能とされています。



上から落ちたはずの滝の水がまた上に?!

しかし、このエッシャーの『滝』を、見事に三次元で表現した作品が『福田繁雄デザイン館』内に展示されています。上から落ちたはずの滝の水が水路を通ってまた同じ滝を流れ落ちる、現実には不可能と思われるこの作品を、『日本のエッシャー』とも言われる福田氏が、巧みなトリックで完成させています。流れる水が、まるで重力に逆らい上っているかのように見えるそのトリックとは!? その謎はぜひシビックセンターでお確かめください。

こみゅにTeaたいむ

日曜日

元気なコミュニティ 100選

県は、地域の活性化に自主的に取り組んでいる町内会や団体を選定する「元気なコミュニティ 100選」を行い、二戸市からは門崎むらづくり協議会、ぎばって足沢・70の会、堀野町内会の3団体が選ばれました。今月は堀野町内会を紹介します。

堀野町内会は8地区から構成され、約800世帯2,100人が加入する町内会で、お祭り、文化祭、地域の花壇づくりや清掃活動など地域の活性化を図るため、子供会育成部、祭典部、体育部、文化部、厚生部、交通安全部の6つの実践部が活発に活動しています。

平成16年からは「住民参加型歩道除雪」を県と市との協働で行っています。道路管理者の県と市と町内会の3者で協定を結び、町内会が県から除雪機を借り受け、降雪時には地域内の歩道を除雪し、通学路を確保しています。ほかに市の施設である「生きいき交流センター」を町内会が指定管理者として運営しています。

また、近年ではアパートや貸家が増えていることなどから、町内会に関する情報を広く提供することが必要となっています。そこで町内会への加入促進や情報発信を図るため、補助事業によりパソコンやコピー機などを導入し、町内会のホームページの開設や広報誌の発行に向け、現在、取り組んでいます。

堀野町内会会長の清水秀夫さんは「今までの伝統的な行事を守りつつも、時代に対応した新しい事業にも取り組み、老若男女みんなが楽しみながら生活できる地域をつくっていききたい」と語っています。

堀野町内会の地域と行政との協働や情報発信など、新たな取り組みに積極的にチャレンジしていく姿勢は他の地域の模範となっています。



通学路確保のため早朝から除雪を行う町内会の人たち

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線653）まで